



2017年2月7日 未来創造対話in大阪2017 産学連携の深化によるイノベーションの促進に向けて

"リアル" ソーシャルイノベーションへの挑戦

永井健治

大阪大学 副理事(産学連携担当) 大阪大学 産業科学研究所 副所長



大阪大学産業科学研究所の理念



産業に資する科学研究の推進





産研発のリアルイノベーション例





岡部 金治郎



石丸 寿保 ペニシリンの大量合成法を発明

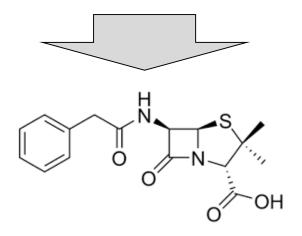


八木康史 **#容認証法**を発明

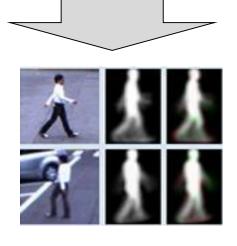




国内初量産電子レンジシャープR-10(1962)



特許収入により 産研総合解析センターを設立



警察の犯罪捜査支援に利用



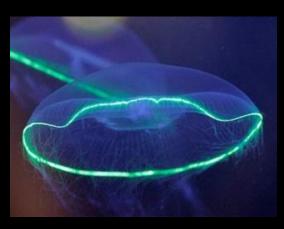
産研発 Real Innovation 例4

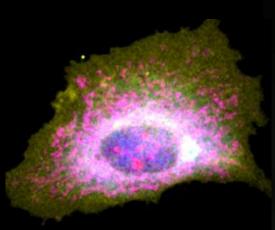




永井健治

高光度生物発光タンパク質を開発





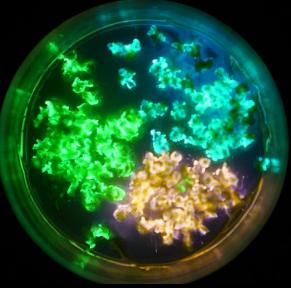


蛍光タンパク質

発光タンパク質 フェルスター共鳴

フェルスター共鳴 エネルギー移動



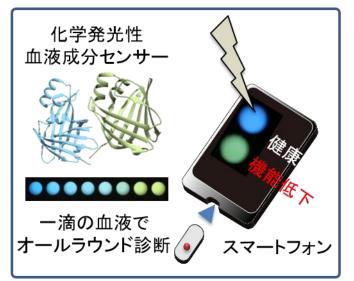




将来展望と課題



オンサイト診断



発光花



発光街路樹



- ①誰もがあっと驚く明るさの実現(現状:10 lux→目標:100 lux)
- ②カルタヘナ法への対応、規制緩和への取り組み
- ③サプライチェーンによるオープンイノベーションの推進

巨大な新産業の創出

電力不要なエコ照明 LEP (Light Emitting Plants)の普及によるエネルギー消費の節減

在宅健康診断による日常的健康管理の普及と長寿社会の実現